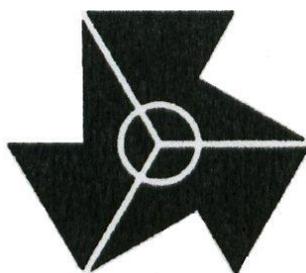


2025（令和7）年度 第80回 大阪高等学校 総合体育大会テニス大会

日 程 令和7年 8月 9日～8月14日 (1・2年生大会予選)
令和7年 8月16日～8月19日 (1・2年生大会本戦)
令和7年 8月 9日～8月12日 (3年生大会)

会 場 蜻蛉池公園、マリンテニスパーク北村、ミズノスポーツプラザ舞洲
各学校テニスコート



大阪高等学校体育連盟テニス専門部

大会役員

大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

遠藤 充建 (山 本)

大内 康弘 (泉 北)

奥井 保亘 (寝屋川)

奥田 訓之 (枚方なぎさ)

下向 真治 (渋 谷)

大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)

石山 未悠 (大阪女学院)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

浦 尊博 (東住吉総合)

奥井 みなみ (桜 宮)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

岸上 啓幸 (関大北陽)

呉田 未来 (桜 宮)

坂本 光男 (大商学園)

笹井 伸郎 (大商学園)

重松 一剛 (吹田東)

下岡 絵里 (淀川清流)

新谷 啓 (大阪産業大附属)

鈴木 将二 (登美丘)

高木 波也汰 (興 國)

田中 佳奈 (高 石)

玉川 敬祐 (桜 和)

辻 博規 (大体大浪商)

中井 功 (履正社)

中村 愛美 (伯 太)

仁木 秀雄 (かわち野)

浜本 慎吾 (日 新)

藤森 洋弥 (日 新)

守谷 静香 (難波支援)

安田 一輝 (枚方樟風)

吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

進行補助員

各高等学校テニス部部員

大会日程

■ 予選

8月 9日 (土)	男女シングルス
10日 (日)	男女シングルス
11日 (月)	男女ダブルス
12日 (火)	予備日
13日 (水)	予備日
14日 (木)	予備日

各学校・ミズノスポーツプラザ舞洲

■ 本戦

8月 16日 (土)	男子シングルス・女子シングルス	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
17日 (日)	男子ダブルス・女子ダブルス	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
18日 (月)	のこり・順位決定戦	男子	MTP北村	女子	蜻蛉池公園
19日 (火)	予備日	男女	MTP北村		

■ 3年生大会

8月 9日 (土)	男子シングルス	女子ダブルス	MTP北村	9時開始
10日 (日)	男子ダブルス	女子シングルス	MTP北村	9時開始
11日 (月)	のこり試合		MTP北村	9時開始
12日 (火)	予備日		MTP北村	9時開始

※予選は、雨天の場合予備日に順延としますが必ず会場で以後の日程を確認をすること。

本戦は、雨天の場合順延。

※ボールは会場で配布。控えに入った選手は本部よりボールを受け取る。

本戦に出場する選手は本戦会場で配布。(予選会場ではボールを受け取らないように)

■この大会の成績が、シングルスでベスト32、ダブルスでベスト16以上の選手(組)には近畿大会出場の可能性があるため、選考会の日程などを確認すること。

今年度の割り当て 男女シングルス21名、男女ダブルス10組

会場校へ

会場校は雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン(090-6551-4976)に連絡し、指示受け、選手に伝えること。

会場校は、試合日ごとに結果をメール(houkoku@osaka-hs-tennis.com)で報告してください。なお、ドローに勝者とスコアを記入した詳細報告はデータ化し、メールに添付(PDFファイルがのぞましい)した上で送信してください。



- ・ サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。

①選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。

②選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。

双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気づく前に成立したポイントはやり直しや変更等をせずに有効となります。

- ・ 審判は、セルフジャッジとする。（会場レフェリーが、オーバーコールする事がある）。
- ・ プレーは連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。
- ・ 試合中、何か困ったことが起こった場合は、ロービングアンパイア（会場責任者）にすぐに相談すること。
- ・ 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること。（5分以内に）
- ・ 時間の管理は、アンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- ・ 不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバーコールする。
- ・ 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- ・ アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。（ローカルルール）
- ・ 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。（ストリングロゴは、禁止）
- ・ 本戦の準決勝および決勝のうちダブルスの試合は、ノード方式で行う。

4. 持ち物とゴミについて

- ・ 持ち物は各自が責任を持って管理すること。大会会場の美化には最大限協力しなければならない。
- ・ ゴみは必ず各自で持ち帰ること。

5. その他

- ・ 試合開始後、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することは禁止する。
- ・ 試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- ・ レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。
- ・ 試合についての質問は、顧問および選手のみに限り、保護者や観客はできない。
- ・ J T A テニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- ・ 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ①大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ②了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。